

2023年12月15日

報道関係者各位

**2023年度「放射線教材コンテスト」および、
2022年、2023年度「放射線授業事例コンテスト」受賞作品の決定について
～放射線教育発表会を2023年12月27日に東京・科学技術館で開催～**

日本科学技術振興財団は、小学校・中学校・高等学校の教育に「放射線」が導入されたことをうけ、放射線に関する正確な知識・技能の普及啓発と学校等における放射線教育の普及啓発を目的に、放射線(教育)を学ぶ大学生等が考えた、小・中・高で活用できる優秀な放射線教材作品を決める「放射線教材コンテスト」と、小・中・高等学校の教育関係者による、放射線教育に関する企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案の事例を選ぶ「放射線授業事例コンテスト」を実施し、受賞作品を発表しました。12月27日(水)、科学技術館(東京都千代田区)において「放射線教育発表会」として、受賞作品の演示や、表彰式を執りおこないます。

概要:

「2023年度放射線教材コンテスト」

応募内容: 児童・生徒が放射線について学ぶための放射線教材及びその放射線教材を用いた演示内容。

演示については、学校での活用を念頭に、1回あたり10分程度のブース実演ができるもの。

募集対象: 放射線(教育)分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等の学生個人または数名のチーム

応募作品数: 94 作品(応募校 14 校) 受賞作品: 最優秀賞2件、特別賞7件、優秀賞6件

後援: 復興庁、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益財団法人日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム

「2023年度放射線授業事例コンテスト」

応募内容: 小・中・高の学習指導要領に、「放射線に関する教育」が取り上げられたことを踏まえ、放射線教育を検討している教員の参考となる企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案などの放射線授業事例を広く募集

募集対象: 小・中・高等学校の教育関係者

受賞作品: 最優秀賞2件、優秀賞1件、入選3件

後援: 全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益財団法人日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム

「2023 年度放射線教育発表会」

開催日時: 2023 年 12 月 27 日(水) 13:00~17:00

会場 : 科学技術館1階イベントホール(東京都千代田区北の丸公園 2-1)

定員 : 100 名 参加費: 無料 応募締切: 2023 年12月24日(日)

申込 : Google フォーム <https://forms.gle/4N2HCHQuaCyFwJiU8>

問合せ : 日本科学技術振興財団 人財育成部

TEL: 03-3212-8504 E-mail: radi-info@jsf.or.jp

放射線教育支援サイト “らでい” <https://www.radi-edu.jp/seminar>

本プレスリリースに関するお問合せ先

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部 エネルギー・環境グループ

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

TEL: 03-3212-8504 FAX: 03-3212-8596 E-mail: radi-info@jsf.or.jp

※入選作品の文字データ、写真データが必要な方は、「人財育成部 エネルギー・環境グループ」までお問い合わせください。e-mail や郵便等にてお送りさせていただきます。

2023年度放射線教材コンテスト 概要

日本科学技術振興財団は、放射線に関する正確な知識・技能の普及啓発や学校等における放射線教育の普及啓発を目的として、放射線（教育）を学ぶ大学生等を対象に、小・中・高で活用できる放射線教材を募集。その教材を教職員の方々にご紹介することによって放射線教育の輪が広がっていくことを願って、放射線教材コンテストを毎年実施しており、今回で6回目の開催となります。

審査基準は、応募者自身が放射線について学んだ過程で驚きや感動を伴い「わかった！」と実感した内容“放射線エウレカ” ※を①「具現化」し、②「教育効果」の高い放射線教材となっているか、の2点です。

この度、受賞作品が決定しましたので発表いたします。

※アルキメデスが王冠の体積を知るための方法を考えていたときに入浴したところ、自分が湯の中に浸かった分だけ、浴槽から湯が溢れ出ることに気づき、その解決策を思いついた時に思わず叫んだといわれている言葉が「EUREKA (エウレカ)」で、「わかったぞ！」という意味の感嘆詞です。このエウレカにちなみ、本コンテストでは“放射線エウレカ”と名付けました。

名称	2023年度放射線教材コンテスト
主催	公益財団法人日本科学技術振興財団
後援	復興庁、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム
対象	放射線（教育）分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等の学生個人または数名のチーム（所属学部や学科、専攻の名称に必ずしも「放射線」が含まれる必要はない）。
応募結果	応募校数：14 応募作品数：94
賞	最優秀賞2件、特別賞7件、優秀賞6件
スケジュール	2023年 9月30日（土） 募集締切 12月27日（水） 放射線教育受賞者発表会 ※本コンテストのブース実演、表彰式等
ホームページ	https://www.radi-edu.jp/contest

2023年度放射線教材コンテスト 受賞作品

最優秀賞	見て動かしてわかる！放射線からの身の守り方	井上 章之助	駒澤大学
	多方向から骨折を診てみよう！	岡村 美喜	東京都立大学
優秀賞・全国小学校理科研究協議会特別賞	みんなで学ぶ放射線のお仕事	三島 和紗	駒澤大学
優秀賞・全国中学校理科教育研究会特別賞	実演で学ぶトリチウム処理水に関する教育	林 琢成	兵庫医科大学
優秀賞・日本理化学協会特別賞	同位体分離体験による年代測定法の学習教材	橋本 ゆうき	東京工業大学
優秀賞・公益社団法人日本理科教育振興協会特別賞	12/20 放射線教育支援サイト“らでい”にて発表		
優秀賞・NPO 法人放射線教育フォーラム特別賞	同位体分離体験による年代測定法の学習教材	橋本 ゆうき	東京工業大学
優秀賞・放射線教育支援サイト“らでい”特別賞	Minecraft で学ぶ放射線	佐藤 惇哉	佐世保工業高等専門学校
優秀賞・日本科学技術振興財団理事長賞(特別賞)	12/27 放射線教育発表会において投票にて決定		
優秀賞	アニメーションでよくわかる身近にある放射線	清水 愛	帝京大学
	NFC タグ付き放射線カードゲーム“ラジカ！”とHPでの学び	中條 蓮	東京都立大学
	“かるた”で学ぼう核医学診療！！	白石 秀伍	兵庫医科大学
	クイズ形式で学ぼう！放射線歴史スゴロク	栗田 慎也	東海大学
	グループで予測し結果を確かめて納得！中性子計測実験	松井 隆祥	東京都市大学
	放射線学習をとおして育む児童の成長	齋 綾利	宮城教育大学

募集

〈2023年度〉 放射線教材コンテスト のご案内

“放射線エウレカ”を形にしよう

エウレカとは…紀元前のギリシア、アルキメデスは複雑な形をした王冠の体積を知るための方法を考えていたときに入浴したところ、自分が湯の中に浸かった分だけ、浴槽から湯が溢れ出ることに気づき、その解決策を思いついたといわれています。その時、喜びのあまりに思わず叫んだといわれている言葉が「EUREKA(エウレカ)」で、「わかったぞ!」という意味の感嘆詞です。このエウレカにちなんで、放射線を学ぶ中でエウレカと感じたことを、本コンテストでは“放射線エウレカ”と名付けました。

主 催：公益財団法人日本科学技術振興財団
後援(予定)：復興庁、全国小学校理科研究協議会、
全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、
公益社団法人日本理科教育振興協会、
NPO法人放射線教育フォーラム



目的	<ul style="list-style-type: none"> 放射線に関する正確な知識・技能の普及啓発 学校等における放射線教育の普及啓発
審査基準	<p>“放射線エウレカ”を[具現化]し、 [教育効果]の高い放射線教材となっているか</p> <p>具現化</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募者自身が放射線について学んだ過程で驚きや感動を伴い「わかった!」と実感した内容“放射線エウレカ”が、明確化・精緻化できているか(明確化・精緻化する過程での努力が説明できているほど高く評価する)。 “放射線エウレカ”を具現化した放射線教材は、シンプルに、わかりやすく明快な内容となっているか。
	<p>教育効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育効果が高い教材となっているか(学校等の先生が授業等で活用しやすい教材となっているほど高く評価する)。 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったアクティブ・ラーニング教材となっているか。
	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線について学ぶ児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む内容となっているか。
対象	放射線(教育)分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等の学生個人または数名のチーム(所属学部や学科、専攻の名称に必ずしも「放射線」が含まれる必要はない)。
応募方法	指定のフォーマットを使用して、[①+②]または[③]をメール送付する。 ①エントリーシート ②予稿 ③【簡易版】応募用紙
選考	<p>選考プロセス</p> <p>審査員</p> <p>1次選考 教職員OB・OG等の教育経験者</p> <p>2次選考 本コンテスト審査委員</p> <p>最終選考 本コンテスト審査委員</p>

※以下の放射線教育支援サイト“らでい”よりダウンロードしてください。

賞	特別賞	最優秀賞(副賞3万円相当)	2件
		優秀賞(副賞1万円相当)	若干
		全国小学校理科研究協議会特別賞(副賞1万円相当)	1件
		全国中学校理科教育研究会特別賞(副賞1万円相当)	1件
		日本理化学協会特別賞(副賞1万円相当)	1件
		公益社団法人日本理科教育振興協会(副賞1万円相当)	1件
		NPO法人放射線教育フォーラム(副賞1万円相当)	1件
		放射線教育支援サイト“らでい”特別賞(副賞1万円相当)	1件
入選(副賞2千円相当)	若干		
準入選(副賞1千円相当)	若干		

※1 各賞の賞状は応募代表者、共同応募者の全員に授与する。

※2 特別賞は、最優秀賞、優秀賞とは別途選考され、他の賞と重複して授与される場合がある。

放射線教育 発表会	日時：2023年12月27日(水)
	①発表会(フース実演) 13:00~15:00
	②講演会 15:00~16:00
	③表彰式 16:00~17:00
場 所：科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)	

〈スケジュール〉

9月30日(土)	募集締切
10月下旬	2次選考通過作品発表*
11月30日(木)	最終選考資料提出
12月中旬	受賞作品発表
12月27日(水)	放射線教育発表会(フース実演・表彰式)

※2次選考通過者には、最終選考に必要な提出物等について別途お知らせいたします。

〈お問い合わせ・ご応募〉

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人 財 育 成 部
 〈2023年度〉放射線教材コンテスト事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
 TEL:03-3212-8504 FAX:03-3212-8596 e-mail: radi-info@jsf.or.jp
 放射線教育支援サイト“らでい” <https://www.radi-edu.jp/contest>



2023年度放射線授業事例コンテスト 概要

当財団では、教職員等（小中高の教職員、OB・OGを含む）を対象に、学校等における放射線教育の普及啓発と、放射線に関する正確な知識理解の普及啓発を目的として、放射線教育に関する企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案などを募集。放射線授業事例コンテストを毎年実施しており、今回で4回目の開催となります。

この度、受賞作品6件が決定しましたので発表いたします。

名称	2023年度放射線授業事例コンテスト
主催	公益財団法人日本科学技術振興財団
後援	全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益財団法人 日本理科教育振興協会、NPO 法人放射線教育フォーラム
対象	小・中・高等学校の教育関係者（現職教員に限らず、元教員、指導主事、関係団体職員等）
応募結果	応募作品数：233作品
賞	6件（最優秀賞2件、優秀賞1件、入選3件）
スケジュール	2023年10月31日（火） 募集締切 12月27日（水） 放射線教育発表会 ※本コンテストの実演発表、表彰式等
ホームページ	https://www.radi-edu.jp/case-contest

2023年度放射線授業事例コンテスト 受賞作品

最優秀賞	中大連携による中学2年生を対象とした放射線実験授業	佐藤 佳子	和歌山信愛中学校
	放射線の強度を正當に評価できる生徒を育てる ・ゆらぎのある線量率のデータを正しく評価できるように ・視覚と測定値をつなぎ、感覚的に強度を感じられるように	大津 浩一	名古屋経済大学市邨高等学校中学校
優秀賞	自作カードのなかまわけで学ぶ放射線教育	奈良 大	愛知教育大学附属名古屋中学校
入選	持続可能な放射線教育をめざして ～ 「文部科学省放射線副読本」問題練習を通して～	佐々木 清	元教員
	実践的放射線教育「飯舘村実地研修」の事例	加藤 信行	栃木県立大田原高等学校
	理科を軸とした教科等横断的な視点でのカリキュラム・マネジメントを通して、がん教育と放射線教育との連携を図る	若林 昌吾	千葉県君津市立周西中学校

2023年度 放射線授業事例コンテスト

平成29・30・31年改訂学習指導要領【総則編】では、「豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくこと」が明記され、「解説」ではその資質・能力の育成の1つとして「放射線に関する教育」が取り上げられています。

「こんな授業をやってみたい」「こんな授業をやってみた」「こんな工夫が授業に役立った」「高価な実験道具を使用せずに授業を実践してみた」といった放射線教育を検討している教員の参考となる企画、実践事例、教材・教具の開発、学習指導案などの放射線授業事例をひろく募集いたします。

募集対象

小・中・高等学校の教育関係者
(現職教員に限らず、元教員、指導主事、関係団体職員 等)

締切日

2023年10月31日(火)

主催

公益財団法人 日本科学技術振興財団

後援(予定)

全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、
公益財団法人 日本理科教育振興協会、NPO法人放射線教育フォーラム

応募内容

- ①エントリーシート及び放射線授業事例(詳細資料を含む)
- ②簡易応募シート

※エントリーシート、放射線授業事例、簡易応募シートは、放射線教育支援サイト“らでい”
(<https://www.radi-edu.jp/case-contest>) から所定のフォーマットをダウンロードして使用する。

応募方法

- ・募集内容①または②について、メール (radi-info@jsf.or.jp) にて送付してください。
- ・応募は1人につき1点とする。(共同応募者としての応募は複数可能。)
- ・放射線授業事例について、指導計画、指導案、学習形態、ワークシート、観察・実験、アンケート分析など含めた詳細資料がある場合には、A4(任意形式)10枚以内にまとめて、pdfファイルとして提出してください。

問い合わせ

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人財育成部
「放射線授業事例コンテスト」事務局 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
TEL:03-3212-8504 FAX:03-3212-8569 e-mail: radi-info@jsf.or.jp
放射線教育支援サイト“らでい” <https://www.radi-edu.jp/case-contest>



2023年度放射線教育発表会 概要

当財団では、日本全国の放射線教育関係者が一堂に会し、今後の放射線教育に関する情報交換と研修の機会となることを願い、放射線教育発表会を開催しています。

本発表会は、今回で2回目の開催となります。

内容は、つぎの3部構成です。

①放射線教材コンテスト及び放射線授業事例コンテストの受賞作品の演示

ブースセッションとして、放射線教育関係者および一般のお客様に対し、受賞者自ら放射線教材、放射線授業事例について演示していただきます。

②パネルディスカッション

福島第一原子力発電所事故があった福島県での放射線教育の現状について、福島県の教員（数名）をご招待し、復興の様子や放射線授業の内容の変化などについて紹介。また、福島県の教員とのパネルディスカッションを予定しています。

③表彰式

「2023年度放射線教育発表会」

開催日時：2023年12月27日(水) 13:00～17:00

会場：科学技術館1階イベントホール（東京都千代田区北の丸公園2-1）

定員：100名 参加費：無料 応募締切：2023年12月24日（日）

申込：Google フォーム <https://forms.gle/4N2HCHQuaCyFwJiU8>

問合せ：日本科学技術振興財団 人財育成部

TEL：03-3212-8504 E-mail：radi-info@jsf.or.jp

放射線教育支援サイト “らでい” <https://www.radi-edu.jp/seminar>

名称	2023年度放射線教育発表会
主催	公益財団法人日本科学技術振興財団
対象	放射線教育に取り組んでいる方々
スケジュール	2023年12月27日（水） 発表会 13:00～14:50 13:10～13:40 放射線教材コンテスト入選作品発表① 13:40～14:10 放射線授業事例コンテスト入選作品発表 14:10～14:40 放射線教材コンテスト入選作品発表② パネルディスカッション 15:00～15:50 表彰式 16:00～17:00
ホームページ	https://www.radi-edu.jp/seminar

2023年度 放射線教育発表会

2023年12月27日(水) 13:00~17:00

会場 科学技術館1Fイベントホール

全国の放射線教育に取り組んでいる方々の情報交換、
研修の場として放射線教育発表会を開催いたします。
ぜひご参加ください。

スケジュール(予定)

	時間	会場
発表会	13:00~14:50	
放射線教材コンテスト入選作品発表①	13:10~13:40	9・10号館
放射線授業事例コンテスト入選作品発表	13:40~14:10	9・10号館
放射線教材コンテスト入選作品発表②	14:10~14:40	9・10号館
パネルディスカッション		
進行: 秀明大学 教授 清原洋一氏 パネリスト: 「福島に学ぶプロジェクト」にご応募いただいた先生等 ご登壇いただく予定です。	15:00~15:50	8号館
表彰式		
放射線教材コンテスト受賞作品表彰 放射線授業事例コンテスト受賞作品表彰	16:00~17:00	6号館



放射線教育発表会にご参加いただきアンケートに回答いただけた方に、参加賞としてAmazonギフト券1,000円を贈呈します。

定員 100名 *対面のみ。オンラインはありません。

参加費 無料 (交通費・宿泊費・通信費等はご負担ください)

申込締切 2023年12月24日(日) (先着順)

申込方法 Googleフォームにてお申し込みください。
URL: <https://forms.gle/4N2HCHQuaCyFwJiU8>



放射線教材コンテスト

募集内容 児童生徒が放射線について学ぶための放射線教材及びその放射線教材を用いた演示内容
対象 放射線(教育)分野等を専攻する大学生、大学院生、短期大学生、高等専門学校生、専門学校生等
後援 復興庁、全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO法人放射線教育フォーラム
URL <https://www.radi-edu.jp/contest>

放射線授業事例コンテスト

募集内容 放射線教育を検討している教員の参考となる企画、実践事例、教材・教員の開発、学習指導案などの放射線授業事例
対象 小・中・高の教育関係者等
後援 全国小学校理科研究協議会、全国中学校理科教育研究会、日本理化学協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、NPO法人放射線教育フォーラム
URL <https://www.radi-edu.jp/case-contest>

福島に学ぶプロジェクト

募集内容 福島県での放射線教育の実践活動
対象 福島県内の小・中・高(高专)等
後援 福島県教育委員会
URL <https://www.radi-edu.jp/fukushima>

お問い合わせ

公益財団法人 日本科学技術振興財団 人育成部 エネルギー・環境グループ
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
TEL: 03-3212-8504 FAX: 03-3212-8596 e-mail: radi-info@jsf.or.jp

2023 年度放射線教育発表会

「放射線教育発表会」は、①放射線教材コンテスト受賞作品の発表会と、②放射線授業事例コンテスト受賞作品の発表会を、併せて行うものです。①、②を合同開催することにより、本件発表会が、全国の放射線教育に取り組んでいる方々相互の情報交換と、研修の場となることを願っています。何卒取材をいただけますようご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、発表会当日の取材は、返信用紙にて12月26日(火)12時までにご連絡ください。

日時：2023年12月27日(水) 13:00~17:00

会場：科学技術館1階イベントホール

■プレス参加

「個人情報の取り扱いについて」に関して同意します。

(次ページの個人情報の取扱いをご確認いただき口にて✓をお願いします)

貴社名 _____

媒体名 _____

ご芳名 _____ 他計 名様

ご所属 _____

ご連絡先 _____

通信欄 _____

交通アクセス

科学技術館

(東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号)

最寄り駅

【東京メトロ東西線、半蔵門線】

【都営地下鉄新宿線】

「九段下」駅下車(2 番出口) 徒歩約 800m(約 9 分)

【東京メトロ東西線】

「竹橋」駅下車(1b 出口) 徒歩約 550m(約 7 分)



<個人情報の取り扱いについて>

1. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。

公益財団法人 日本科学技術振興財団 個人情報保護管理者 吉田 忍

個人情報取扱部門責任者 木本 徹

連絡先 03-3212-8487

2. 個人情報の利用目的について

当財団はご提供いただいた個人情報について、以下の目的で利用します。

下記以外の目的で個人情報を利用させていただく場合には、別途その旨をご連絡致します。

(1) ご本人さまよりお申し込みいただいた発表会への出席の登録。

(2) 本発表会、報道対応に関する確認・連絡等を行うため。

3. 個人情報の第三者への提供および委託について

当財団はお客様の同意をいただいた場合または法令に基づく場合を除き、ご提供いただきましたお客様の個人情報を第三者に提供または委託することはありません。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報をご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

5. 個人情報に関するお問い合わせについて

お客様よりご提供いただいた個人情報に関して、開示、及び開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正又は削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応いたします。

開示等の求めについての手続きは、当財団Web「個人情報の開示等の求めに関する手続き」をご参照ください。

なお、以上のお申し出に対する当財団の個人情報に関する窓口は、次のとおりです。

公益財団法人 日本科学技術振興財団 経営企画・総務室

電話 03-3212-8484

6. ご本人の同意について

当財団は上記1から5までの項目についてご本人のご同意がいただけた場合にのみ個人情報を取得いたします。